

自慢できる家造り

PRESENCE'S NEWS LETTER

2020年9月号
Vol.62

いつも「自慢できる家造り」をご覧いただきまして、ありがとうございます。
まだ、残暑が厳しいですが朝夕の風に秋の匂いを感じてまいりました。
今回はこれから寒い季節となりますので、健康と住宅のあり方についてお送りしたいと思います。

代表 森下 寛史

平均寿命と健康寿命



健康寿命 72.14歳
平均寿命 80.98歳
日常生活に制限のある期間 8.84歳



健康寿命 74.79歳
平均寿命 87.14歳
日常生活に制限のある期間 12.35歳

※制限のある期間とは 支援や介護を必要とすることなど健康上の問題で自立できない日常生活の事

住宅と健康寿命

- 勧告1. 住まいの過密対策
- 勧告2. 住まいの寒さと断熱対策
- 勧告3. 住まいの暑さ対策
- 勧告4. 住まいの安全対策
- 勧告5. 住まいの障害者対策



冬季の住まいの室温はWHOの調べによると、平均室温は18℃が好ましいとしていますが日本の平均室温が12℃前後で**18℃未満の住宅が9割**も占めているそうです。これは起床時の血圧をあげる原因でもあり、かなり身体に負担をかけることになります。

これは住宅の断熱性能がかなり悪い!という事です。

**健康寿命を延ばすには
「断熱性能」を高めて
室温を上げることが大切です。**



プレゼンスの分譲住宅では
断熱性能を高める為の施工
を徹底しています。



【防湿気密シートの施工】



【断熱材施工不具合の例】

※一般的な建売住宅でよく使われる工事内容です。



黄色いシート(防湿気密シート)でスキマなく壁をおおい室内を魔法瓶のような状態にします。電気のコンセントやエアコンのダクト等は気密ボックスと気密テープでしっかりとふさぎます。断熱性能は断熱材だけではダメで、気密もしっかりやってはじめて断熱性能が高くなります。プレゼンスでは、隠れて見えなくなる断熱材の施工を第三検査機構「日本住宅保証検査機構」で、厳しい検査を受け、全棟合格してから壁を仕上げています。※検査報告書も提示いたします。(検査状況写真添付)

断熱性能を低下させる原因!

ただ断熱材を壁に押し込むだけでは左写真のようにスキマを作ってしまい折角の断熱性能を損ないます!
断熱材はスキマなく壁に入れてこそ断熱性能を生かすことができます。壁を塞いだら見えない部分なので建築中はよく確認しましょう! 既に工事完了していたら、施工写真で確認しましょう!



**高気密 高断熱
吹抜け だからこそ出来る
リビング階段**



— 住まいとデザインの融合 —
Uniting of residence and design

P R E S E N C E .
株式会社プレゼンス

0120-219-117
info@presence-net.jp
<https://presence-net.jp/>



〒733-0034 広島市西区南観音町12-32